

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 競艇事業部経営企画課 =

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	435	法定交納付金事業			
根拠法令等	モーターボート競走法等	事業開始年度 事業期間	昭和30年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を実施運営し、舟券の売上額に対しモーターボート競走法、地方財政法の規定に基づき納付する事業
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業施行のため
目標 (目指す成果)	海洋船舶関係事業、公益・福祉事業、海外協力援助事業等に寄与する。
そのための 手段 (手法)	競艇舟券売り上げの一部を日本船舶振興会等に交納付する。

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
日本船舶振興会 交付金	1,945,579	2,259,966	2,275,001
日本モーターボート 競走会交付金	896,113	882,760	910,000
公営競技納付金	895,074	724,613	879,663

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
売上	目標	62,727,600	72,850,000	70,000,000	年度
	実績	69,422,164	70,630,973		
収益	目標	1,730,000	2,000,000	1,900,000	年度
	実績	2,362,000	1,881,000		
	目標				年度
	実績				

指標の説明

売上	目標は、当初予算時の売上見込み額とした。
収益	目標は、当初予算時の収益見込み額とした。

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	3,736,766	3,867,339	4,064,664
	人件費	797	783	
	合計	3,737,563	3,868,122	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	3,737,563	3,868,122	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	法により、競艇事業の施行者(市)が船舶等振興機関などへ交付することが定められている。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	法に基づく交納付金事務を最小限の人件費で対応している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	スムーズかつ正確な納付事務ができています。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	収益率が低下する中、売上げに対する納付率での納付は大きく収益に影響を受ける。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	納付率の引き下げを関係先に粘り強くお願いしていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	436	周辺地区対策事業		
-------	-----	----------	--	--

根拠法令等	競艇事業運営協力交付金交付要綱・周辺地区生活環境整備事業費補助金交付要綱	事業開始年度 事業期間	昭和44年度・昭和54年度	
-------	--------------------------------------	----------------	---------------	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
----------------	--------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業の振興と、その運営の円滑化を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇場周辺の関係地区
目標 (目指す成果)	競艇場周辺地区の違法駐車や迷惑行為などの防止および環境整備
そのための 手段 (手法)	運営協力交付金および環境整備事業補助金を交付する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
周辺地区生活環境整備事業費補助金	3,870,000円	3,870,000円	3,870,000円
競艇事業運営協力交付金	8,200,000円	8,200,000円	8,200,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
確定交付額	目標	12,070	12,070	12,070	12,070
	実績	12,070	12,070		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

確定交付額	補助金・交付金実績額

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.50人	次長 課長級	0.40人	補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.60人	次長 課長級	0.30人	補佐級		係長級	0.30人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	12,313	12,283	12,350
	人件費	4,706	5,181	
	合計	17,019	17,464	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	17,019	17,464	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	競艇開催する上において、競艇場周辺地区住民の理解が必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	競艇事業運営を円滑に進めるために、十分見合った成果をあげている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	競艇場周辺地区での違法駐車や迷惑行為などが抑えられている。また周辺地区の環境整備が進んでいる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	引き続き、競艇事業運営のため周辺地区との調整を図っていく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	周辺地区住民の理解と協力をお願いしていく。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	437	蒲郡競艇運営研究懇談会事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	昭和60年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡競艇の運営に関する諸問題について研究するため
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競艇の施行者、市議会および日本モーターボート競走会
目標 (目指す成果)	健全かつ安定的な競艇事業の運営
そのための 手段 (手法)	協議会および研究会等を催す

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
定例会の実施	1回実施	1回実施	1回実施予定
先進地視察	丸亀ポート	住之江ポート・ ミニポートピア洲本	未定

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
参加割合	目標	0.7	0.7	0.7	0.7
	実績	0.488	0.591		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

参加割合	総会員数のうち、定例会または視察研修に参加した人数の割合

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.20人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級	0.05人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.25人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.15人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	540	510	600
	人件費	1,865	2,119	
	合計	2,405	2,629	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	2,405	2,629	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	蒲郡市、蒲郡市議会、競走会が競艇事業運営について意見交換を行う意義深いものとする。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	他場の運営状況の聞き取りや新たな施設の見学は、今後の競艇事業運営の参考になるものの、予算が必要となる新規事業については実現することが難しい。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	関係各所の連携を深めることは、競艇事業運営を円滑にし、健全化に資するものである。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設改善後の競艇事業運営にかかる課題について、関係者が情報を共有し検討していく。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	懇談会の事業内容などについて検討する。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	438	競走事業協力会助成事業			
根拠法令等	蒲郡市モーターボート競走場の予想業者等の予想コンクール、研修及び被服等に関する要綱	事業開始年度 事業期間	昭和54年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業の振興、競走場内の秩序維持および適正な予想業務を遂行するため
対象(受益者) (誰・何を)	予想業者等
目標 (目指す成果)	ファンサービスを充実し本場来場者の増加させる
そのための 手段 (手法)	予想業務を適性かつ円滑に遂行するための研修費、被服費の補助および予想コンクールの実施

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
予想コンクール副賞	年2回実施	年2回実施	年2回実施
被服購入費	ジャンパー・冬用帽子	夏用シャツ・帽子	未定
研修	丸亀ボート	下関ボート	未定

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
助成割合	目標	0.50	0.50	0.50	0.50 年度
	実績	0.51	0.53		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

助成割合	助成額 / 協力会事業費

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,490	1,301	1,547
	人件費	887	783	
	合計	2,377	2,084	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	2,377	2,084	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	スポーツ紙、インターネット情報サイトなど、他のメディアにおいて予想情報が充実しており、ファンにとって予想業者の必要性が薄れてきている。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	予想業が本場来場促進につながっているとは言い切れない。また、予想業者に付いているお客の数に差があるように見受けられる。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	レースを予想するための情報が多様にあるが、本場来場者の中には予想業者の情報提供を楽しみにしているお客もいるようである。予想業者が本場来場促進となる施策を考える必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ファンサービスの一環としての予想台運営の観点から、来場客に満足いただける予想業を行っていただく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	他のメディアにおける予想情報とは違う、ファンサービスの一つとしての本場ならではの情報提供に努める。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	439	場間場外発売委託事業			
根拠法令等	地方自治法第252条の14第1項	事業開始年度 事業期間	昭和58年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	舟券の発売区域を拡大し、売上げを向上するため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業施行のため
目標 (目指す成果)	競艇事業収益の確保
そのための 手段 (手法)	他場および場外発売場で蒲郡競艇の発売を委託する

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
場間場外売上額	24,228,337	29,902,246	30,833,200
収益	561,531	913,685	555,406

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
売上	目標	20,157,600	29,360,800	30,833,200	年度
	実績	24,228,337	29,902,246		
収益	目標	192,000	597,433	555,406	年度
	実績	561,531	913,685		
収益率	目標	0.95%	2.03%	1.80%	年度
	実績	2.32%	3.06%		

指標の説明

	(評価指標の目標は、当初予算時の売上、収益見込み額とした。)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.90人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.35人	一般職		非常勤	0.55人	再任用	
H22 人工計	1.10人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.50人	一般職		非常勤	0.55人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	23,917,105	29,414,896	31,202,790
	人件費	4,071	5,682	
	合計	23,921,176	29,420,578	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	23,921,176	29,420,578	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	全体売上の35～40%を占める発売形態であり、収益状況からみても必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	場外発売管理システム(全国モーターボート競走施行者協議会)の導入により、場間場外発売事務委託費の清算業務の効率化が図られた。年度当初に委託契約事務があるが、年間を通じ、事務処理量は軽減されており、人工に十分見合った成果をあげている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	総売上げに対する場外売上げのシェアは高く、収益が確保できるため。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	他のレース開催との競合が激しくなっており、他場の発売との調整が難しくなっている。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	ナイター場が5場になり、開催日程の競合が激しくなってきたため、全国的な広域発売レースの日程を考慮に入れつつ、他場及びボートピアにおいて効率的に発売できる開催日程を提供することで委託発売の増加を目指す。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	440	場間場外発売受託事業			
根拠法令等	地方自治法第252条の14第1項	事業開始年度 事業期間	昭和58年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡開催にかぎらず、全国的な広域発売レースを提供し、場間場外受託発売の売上向上を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業施行のため
目標 (目指す成果)	競艇事業収益の増加
そのための 手段 (手法)	他の施行者が開催するモーターボート競走を本場および専用場外にて発売する

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
場間場外売上額	7,873,062	7,047,686	8,370,000
収益	781,964	702,709	825,823

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
売上	目標	8,280,000	6,840,000	8,370,000	年度
	実績	7,873,062	7,047,686		
収益	目標	788,000	510,649	825,823	年度
	実績	781,964	702,709		
収益率	目標	9.52%	7.47%	9.87%	年度
	実績	9.93%	9.97%		

指標の説明

	(評価指標の目標は、当初予算時の売上、収益見込み額とした。)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.15人	一般職	0.10人	非常勤	0.15人	再任用	
H22 人工計	0.40人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.15人	一般職	0.10人	非常勤	0.15人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	15,069,867	13,195,327	16,217,287
	人件費	2,091	2,059	
	合計	15,071,958	13,197,386	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	15,071,958	13,197,386	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	自場発売とともに受託発売の収益は、全体収益に対し大きな割合となっており、収益状況からみても必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	発売形態としては、本場開催時での併用発売と本場非開催時での単独発売に分けられる。より収益率の向上を図るため、発売システムの改修後、外向発売所のみでの発売を実施している。さらに本場での単独発売を減らし、コスト削減をめざしている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	場間場外発売による委託・受託発売といった広域発売の積極的な展開により、自場発売のみによる収益確保が難しくなっている昨今、場外発売日数を増やし、グレードの高く人気のあるレースをファンへ提供することにより、売上の向上を図っている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	場間場外発売を単独で開催した場合、売上によっては収益率が極めて悪くなる。レースの売上見込みを的確に把握することにより効率的な発売形態(外向発売所単独発売など)の確立を図る必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	本場開催に加え、場間場外発売をすることにより、切れ目のないレースを提供し、発売日数を拡大することで売上の増加を図る。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	441	競走事業特別会計予算の執行管理事業		
根拠法令等	地方自治法・蒲郡市予算決算会計規則	事業開始年度 事業期間	昭和30年度	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	モーターボート競走事業による収益金から市の財源(繰出金)を確保するため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業の安定的な運営を継続するため
目標 (目指す成果)	予算の適正な執行管理による競艇事業の健全経営
そのための 手段 (手法)	予算を把握し、歳入・歳出予算執行状況を適宜審査する。

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
予算編成	4回(当初1、補正3)	4回(当初1、補正3)	4回(当初1、補正3)
予算執行審査 監査実施	2回(定期、決算)	2回(定期、決算)	2回(定期、決算)
他会計への繰出金	3,300,000	2,260,000	2,000,000

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
他会計への繰出金	目標	3,300,000	2,260,000	2,000,000	年度
	実績	3,300,000	2,260,000		
売上	目標	62,727,600	72,850,000	70,000,000	年度
	実績	69,422,164	70,630,973		
収益	目標	1,730,000	2,000,000	1,900,000	年度
	実績	2,362,000	1,881,000		

指標の説明

他会計への繰出金	競艇事業による収益確保、事業の健全経営を表す指標
	(評価指標の目標は、当初予算時の繰出金、売上、収益見込み額とした。)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.60人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級	0.30人	一般職	0.60人	非常勤	0.55人	再任用	
H22 人工計	2.20人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.75人	一般職	0.60人	非常勤	0.75人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	8,418	11,768	
	合計	8,418	11,768	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	8,418	11,768	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市が実施すべき事業

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	人工に十分見合った成果をあげている

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	収益を確保することで他会計への繰出金を拠出した。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	モーターボート財政調整基金を取り崩すことで収益以上の繰出金を拠出している。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	競艇事業の健全経営により、安定的な繰出金を確保する。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	442	競艇場貯蔵物品管理事業			
根拠法令等	蒲郡市物品管理規則	事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	経費の効率的活用のため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業部内において
目標 (目指す成果)	事務用品等の効率的な運用を図る
そのための 手段 (手法)	事務用品等の在庫管理を徹底する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
貯蔵物品購入費	2,615,252 円	3,417,953 円	4,477,000 円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
物品購入額	目標	3,737,000	3,281,000	4,477,000	年度
	実績	2,615,252	3,417,953		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

物品購入額	目標は予算額、実績は決算額とし、予算額内での執行を目指す。

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤	0.30人	再任用	
H22 人工計	0.90人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.40人	一般職		非常勤	0.40人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,615	3,418	4,477
	人件費	1,496	5,018	
	合計	4,111	8,436	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	4,111	8,436	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	物品在庫管理は物品購入と一連の事務であるため、市が実施すべき。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	台帳による物品管理を行うことにより、必要分だけ物品の購入を行うことができた。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	在庫管理によって、無駄な物品購入が減少するなど、効果が見られる。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	再利用が可能なものは再利用する、必要以上に物品の払い出しは控えるなど、物品管理事業の省力化が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	職員個々が無駄遣いを控えるようにするなどの意識の徹底を行う。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	443	競走事業の決算状況調査事業			
根拠法令等	地方自治法・蒲都市予算決算会計規則	事業開始年度 事業期間	昭和30年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	予算が議決に従って、誠実かつ適正に執行されたかの検討資料とするため
対象(受益者) (誰・何を)	予算執行結果について
目標 (目指す成果)	決算状況を的確に把握することによる競艇事業の健全経営
そのための 手段 (手法)	決算書及び決算説明書を作成する。

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
決算書調整	決算書(市1、県2)	決算書(市1、県2)	決算書(市1、県2)
主要施策の成果に関する報告書	報告書(市1)	報告書(市1)	報告書(市1)
他会計への繰出金	3,300,000	2,260,000	2,000,000

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
他会計への繰出金	目標	3,300,000	2,260,000	2,000,000	年度
	実績	3,300,000	2,260,000		
売上	目標	62,727,600	72,850,000	70,000,000	年度
	実績	69,422,164	70,630,973		
収益	目標	1,730,000	2,000,000	1,900,000	年度
	実績	2,362,000	1,881,000		

指標の説明

他会計への繰出金	競艇事業による収益確保、事業の健全経営を表す指標
	(評価指標の目標は、当初予算時の繰出金、売上、収益見込み額とした。)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.60人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.50人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.75人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.55人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	4,531	5,781	
	合計	4,531	5,781	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	4,531	5,781	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市が実施すべき事業

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	人工に十分見合った成果をあげている

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	収益を確保することで他会計への繰出金を拠出した。

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	モーターボート財政調整基金を取り崩すことで収益以上の繰出金を拠出している。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	競艇事業の健全経営により、安定的な繰出金を確保する。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	444	大型物件リース事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	1 物件あたりのリース期間 5 年		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3 点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業運営のための必要な大型物件を導入するため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業施行のため
目標 (目指す成果)	競艇事業の経営健全化
そのための 手段 (手法)	競艇関連団体 (BOAT RACE 振興会) が実施しているリース制度を利用

事業実績 (事業の概要)

(単位: 円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
中央監視装置	9,130,326 (リース満了)		
自動販売機 (自販機53台等)	78,072,528	77,610,672	46,887,000 (リース満了)
大型映像装置 (更新)	58,324,776	57,809,625	43,926,000 (リース満了)

評価指標

【実績 = 事業返済率...リース総返済額 / 総返済額 × 100%】

(単位: 円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
中央監視装置	目標	9,130,326			91,303,270
	実績	100.0%			21年度
自動販売機 (自販機53台等)	目標	78,072,528	77,610,672	46,886,810	388,284,338
	実績	67.9%	87.9%		23年度
大型映像装置 (更新)	目標	58,324,776	57,809,625	43,926,000	289,391,579
	実績	64.8%	84.8%		23年度

指標の説明

中央監視装置	将来目標値 - リース総返済額、返済完了年度
自動販売機 (自販機53台等)	目標 - 単年度リース返済額
大型映像装置 (更新)	実績 - 事業返済率

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.30人	次長 課長級		補佐級	0.10人	係長級	0.05人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.15人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	145,528	135,420	90,813
	人件費	2,139	1,971	
	合計	147,667	137,391	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	147,667	137,391	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	リース事業を有効的に活用することで単年度で高額となる負担額を平準化でき、計画的な設備投資が可能である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	リース物件の機種選定や価格決定は、市が行うこととなっており、その事務とリース申し込みの作業はあるが、概ねスムーズである。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	売上変動による収支変動に対し、リース事業による高額負担額の平準化により競艇事業の経営健全化を図る。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	業界関係者が実施しているリース事業のため、物件価格の決定は市に委ねられているので、設計金額についてはより精査した上で価格決定を行う必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	リース事業により単年度負担額が平準化され、より大型物件の導入がしやすくなるが、次年度への負担を考えれば必要最小限に事業展開していくものとする。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	445	場内設備運転管理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	来場されるお客様及び蒲郡競走場で働く全ての者に
目標 (目指す成果)	快適な環境を提供する
そのための 手段 (手法)	設備機器の運転管理や施設の応急的な修理を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
場内機器運転 管理委託	中央監視装置監視、機器巡回 点検、自家発電設備運転等	中央監視装置監視、機器巡回 点検、自家発電設備運転等	中央監視装置監視、機器巡回 点検、自家発電設備運転等

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1日あたり経費	目標	181千円	199千円	213千円	年度
	実績	178千円	189千円		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

1日あたり経費	年間事業費 / 開催日数 (場外発売日を含む)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.60人	次長 課長級		補佐級	0.20人	係長級		一般職	0.10人	非常勤	0.30人	再任用	
H22 人工計	0.50人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.20人	一般職		非常勤	0.30人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	47,940	47,786	48,450
	人件費	3,087	2,272	
	合計	51,027	50,058	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	51,027	50,058	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	施設を適正に管理維持するため、施設所有者である市が事業を実施する必要がある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	施設や設備が適正に運転管理されており、投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	本場レース開催日、場間場外発売日、それ以外の出勤日において運転管理する内容が異なるため、状況に応じた管理体制を整える改善が必要。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	蒲郡競走場の施設改善が控えており、運転管理体制の見直しが必要。また、施設改善後の運転管理体制の検討も必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	施設改善に伴い施設の規模や設備の状況が大きく変わる平成24年度以降について、運転管理に係る人員や予算の見直しを行い、適正な内容に改める。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	446	施設整備事業		
-------	-----	--------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
-------	--	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
----------------	--------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	来場されるお客様及び蒲郡競走場で働く全ての者が
目標 (目指す成果)	安全かつ快適に過ごすことの出来る環境を整備する
そのための 手段 (手法)	施設や設備を適宜改修する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
護岸整備事業	施工監理委託業務 護岸整備工事	施工監理委託業務 護岸整備工事	護岸整備工事
新外向関連事業	屋外広場整備工事	映像提供用端末設置委託 外向設備棟増築工事	なし
小規模工事費等	54件	56件	50件

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
工事件数	目標			60件	
	実績	67件	64件		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

工事件数	新設および改修工事の件数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.60人	次長 課長級		補佐級	0.05人	係長級		一般職	0.45人	非常勤	0.10人	再任用	
H22 人工計	0.45人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.35人	一般職		非常勤	0.10人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	180,212	311,981	50,000
	人件費	3,153	2,975	
	合計	183,365	314,956	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	183,365	314,956	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	施設の所有者である市が事業を実施すべき

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	施設整備が適切に行われており、施設の運営管理に問題が生じていない

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	施設の運営管理に問題が生じていないので、現在の事業の進め方で十分効果があがっている

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	スタンド施設の施設改善を控えており、これとの整合性をどのように確保していくか整理する必要がある。
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	スタンド施設以外にも老朽化した施設が残っており、どのように改善していくか方針を決める必要がある。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	447	周辺地区防犯灯設置事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	ナイターでの競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競走場の周辺地区の住民の方が
目標 (目指す成果)	安心して生活できる環境を整える
そのための 手段 (手法)	夜間の犯罪抑止を目的に防犯灯の設置や改修を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
修繕	577箇所	504箇所	500箇所
工事	新設3箇所、撤去5箇所、 移設2箇所	新設9箇所、移設8箇所、 撤去5箇所	新設5箇所、移設5箇所、 撤去5箇所

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
新設件数	目標	5件	5件	5件	5件
	実績	4件	9件		年度
修繕等の割合	目標	54.1%	53.8%	53.3%	50.0%
	実績	59.0%	51.2%		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

新設件数	防犯灯を新設した件数
修繕等の割合	(灯具・ランプ取替え件数 / 総灯数) × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.20人	次長 課長級		補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.20人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	3,444	3,481	4,150
	人件費	1,467	1,566	
	合計	4,911	5,047	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	4,911	5,047	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	ナイターレースでの開催のため、周辺地域住民の安全を確保するために必要である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	塩津地区内の設置灯数が多いため、修繕やランプの取替えの件数が多い

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	個々の防犯灯に対し修繕やランプ取替えが必要になることに対応しているため、効率的ではない。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	近年では新設灯はLEDタイプを設置しているが、LEDは新規設置費が今までのものに比べて高価ではあるが、電球の寿命が長く、電気代も少なくすむので維持管理の効率化が期待できるため、既設の防犯灯についてもLEDタイプへの切り替えが必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	移設や修繕の際にLEDへの切り替えが可能なものから順次行っていく。ただし設置件数が多く、予算も限られるため、全てを切り替えるのに年数がかかる。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	448	駐車場用地管理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	自動車で来場されるお客様の
目標 (目指す成果)	利便性の確保と、路上駐車撲滅を図る
そのための 手段 (手法)	必要な収容台数に見合った駐車場用地を確保する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
駐車場面積	無料 97,800㎡ 個人有料 23,794㎡	無料 96,971㎡ 個人有料 23,794㎡	無料 94,626㎡ 個人有料 23,794㎡
駐車台数	4,641台(無料4,053台、個人 有料588台)	4,641台(無料4,053台、個人 有料588台)	4,280台(無料3,897台、個人 有料383台)

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
駐車場利用率	目標	50%	50%	50%	50%
	実績	35.5%	37.4%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

駐車場利用率	(1日あたりの駐車台数 / 駐車可能台数) × 100 場外発売日を含む

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級	0.10人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.10人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.10人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	26,121	24,853	26,266
	人件費	921	783	
	合計	27,042	25,636	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	27,042	25,636	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	お客様の利便性を確保するため、競艇事業を行う施行者である市が事業を実施する必要がある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	自動車で来場されたお客様の利便性が確保されているうえ、路上駐車がほとんど無かった。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	自動車で来場されるお客様の数が減少してきており、駐車場の収容台数の見直しを行う必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	現在の駐車場の収容台数は、SGなど記念レースのピーク時の数で計画されているため、それ以外のときは、過剰な状態になっている。また、施設改善において、場内に立体駐車場を計画している。以上を考慮し、余剰となる駐車場用地の地主への返還を進める必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	施設改善において場内に立体駐車場が完成する平成26年度までに土地返還の対象となる地主と交渉を行い、平成27年度以降速やかに土地の返還を行う。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	449	竹谷地区テレビ共同受信施設管理事業		
-------	-----	-------------------	--	--

根拠法令等		事業開始年度 事業期間	
-------	--	----------------	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
----------------	--------------------	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競走場の施設によりテレビ電波の影響を受ける周辺住民を対象に
目標 (目指す成果)	地上波テレビの快適な視聴環境を整備する
そのための 手段 (手法)	蒲郡競走場施設に共同アンテナを設置する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
テレビ共同受信施設保守	共同受信施設保守点検、地上波デジタル改修、CATV線添架料	共同受信施設保守点検、CATV線添架料	共同受信施設保守点検、CATV線添架料

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1件当たり経費	目標	23,017 円	2,444 円	2,444 円	年度
	実績	26,045 円	2,437 円		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

1件当たり経費	共同受信施設管理費 / 受益者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.20人	次長 課長級		補佐級	0.10人	係長級		一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.15人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,680	478	480
	人件費	1,467	1,174	
	合計	6,147	1,652	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	6,147	1,652	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	地上波テレビ電波の受信に影響を及ぼしている施設を所有している市が事業を実施すべき

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	共同受信アンテナが適正に管理されており、受信障害が生じていない

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	受信障害が生じていないので、現在の進め方で十分効果がある

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	施設改善工事によって建物の形状が変わることになる。この影響を確認した上で、共同アンテナの運用の見直しが必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	平成26年度末までにスタンドの形状変化に伴うテレビ電波の影響を調査し、平成27年度以降の見直しを行う。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	450	競技部改修事業		
根拠法令等	建築基準法、消防法など	事業開始年度 事業期間	平成15年度、事業期間16年	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	競技の運営管理を委託している競走会やレースに出場する選手が
目標 (目指す成果)	業務を適正に行ったり、技量を十分発揮できるように
そのための 手段 (手法)	施設や設備を最適にする改修を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
競技部改修	競技部改修工事 (第2期その2)実施設計	競技部改修工事 (第2期その2)完了	なし

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
事業進捗率	目標	35.70%	57.31%		100%
	実績	35.87%	54.95%		28年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

事業進捗率	累積事業費 / 総事業費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.30人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職	0.30人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.20人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	14,700	229,725	0
	人件費	1,640	1,566	
	合計	16,340	231,291	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	16,340	231,291	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	施設の所有者である市が事業を実施する必要がある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	これまでに完了した改修工事は、当初計画した予算内で事業を行うことができた。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	工事中や完了後の手直しを少なくするため、設計時における競走会や選手会などとの意見調整の進め方を改善する必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	競技部改修は、第3期(整備棟改修)と第4期(艇庫棟改修)が残っている。平成15年度に基本設計を行ってから時間が経過しており、内容の見直しが必要。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	第3期工事は、平成27年度からの着工を予定しているため、それまでに基本設計時の内容の見直しを行う。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	451	施設整備計画事業		
根拠法令等	建築基準法、消防法など	事業開始年度 事業期間	平成20年度、事業期間7年	
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	来場されるお客様及び蒲郡競走場で働く全ての者が
目標 (目指す成果)	安全かつ快適に過ごすことの出来る環境を整備する
そのための 手段 (手法)	施設改善を行う

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
施設改善事業	設計業者選定、跡-ザル、蒲郡競艇場施設改善基本設計	蒲郡競艇場施設改善実施設計	蒲郡競走場施設改善工事発注

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
事業進捗率	目標	1.12%	8.18%	20.40%	100%
	実績	1.61%	6.95%		26年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

事業進捗率	累積事業費 / 総事業費 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級		補佐級	0.05人	係長級		一般職	0.35人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.50人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級	0.35人	一般職		非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	50,000	249,900	1,390,000
	人件費	2,373	4,156	
	合計	52,373	254,056	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	52,373	254,056	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	施設の所有者である市が実施すべき

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	大規模かつ特殊な施設の建て替えを主とした施設改善の設計をまとめることができ、十分成果があったと言える。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	市の要望が設計に反映されており、現在の事業の進め方で十分効果があがっている

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	工事費が過大にならないように、設計の内容を適宜修正しながら工事を進める必要がある。施設改善後の運営方法を早期にまとめる必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	新スタンドが暫定オープンする平成26年春頃までに、施設改善後の運営管理体制をまとめる。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	452	施設維持管理事業		
根拠法令等	建築基準法、消防法など	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	競艇事業を継続して実施するため
対象(受益者) (誰・何を)	来場されるお客様及び蒲郡競走場で働く全ての者に
目標 (目指す成果)	安全かつ快適な環境を提供する
そのための 手段 (手法)	建物や設備等を適正な状態に維持するため、法定点検や日常点検、修繕を行う。

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
施設維持管理事業	施設維持管理委託、修繕、燃料・電気・水道料等、その他 経費	施設維持管理委託、修繕、燃料・電気・水道料等、その他 経費	施設維持管理委託、修繕、燃料・電気・水道料等、その他 経費

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1日あたり経費	目標	1,798千円/日	1,679千円/日	1,795千円/日	年度
	実績	1,743千円/日	1,704千円/日		
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

1日あたり経費	年間事業費 / 開催日数(場外発売日を含む)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.30人	次長 課長級		補佐級	0.30人	係長級		一般職	0.40人	非常勤	0.60人	再任用	
H22 人工計	1.00人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.40人	一般職		非常勤	0.60人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	470,534	429,418	398,407
	人件費	6,347	4,545	
	合計	476,881	433,963	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	476,881	433,963	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	施設を適正に管理維持するため、施設所有者である市が事業を実施する必要がある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	施設や設備は経年劣化していくため、故障やトラブルを未然に防ぐ維持管理体制が必要。重大な故障やトラブルが無かったので、事業の成果があったと言える。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	施設や設備の維持管理に関する法的な変更や制度の見直しがなければ、現在の事業の進め方で十分効果がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	現在の施設の規模や設備の性能が、現在の施設の使用状況に対して過大であり、維持管理に必要以上の事業費が必要となっている。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	蒲郡競走場の施設改善において、施設規模や設備仕様の見直しを行う。平成26年度末までには施設改善が完了する予定。

平成22年度事務事業評価表		担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
事務事業名	453	専用場外ポートピア発売事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	平成10年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡開催はじめ場間場外受託発売の売上向上を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	競艇事業施行のため
目標 (目指す成果)	競艇事業収益の増加
そのための 手段 (手法)	蒲郡開催をはじめ他場が開催するモーターボート競走を専用場外にて発売する

事業実績(事業の概要)

(単位: 千円)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
場外売上額	20,016,668	17,013,078	15,888,800
収益	175,859	178,733	164,335

評価指標

(単位: 千円)

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
売上	目標	19,452,000	17,272,200	15,888,800	年度
	実績	20,016,668	17,013,078		
収益	目標	234,000	185,774	164,335	年度
	実績	175,859	178,733		
収益率	目標	1.20%	1.08%		年度
	実績	0.88%	1.05%		

指標の説明

	(評価指標の目標は、当初予算時の売上、収益見込み額とした。)

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	1.20人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.90人	一般職	0.05人	非常勤	0.15人	再任用	
H22 人工計	1.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.95人	一般職	0.05人	非常勤	0.15人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	35,994,467	30,724,284	33,306,434
	人件費	8,772	8,528	
	合計	36,003,239	30,732,812	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	36,003,239	30,732,812	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	専用場外発売における自場開催売上とともに場間場外受託発売は、全体収益に対し大きな割合となっており、収益状況からみても必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	ボートピア川崎・名古屋においては、投票発売事務をはじめ運営業務を私人、競走会に委託し、合理化を図っており、人工に十分見合った成果をあげている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	継続かつ安定的な収益を確保している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	郊外型のボートピア川崎においては、平成20年10月から私人委託し、経営改善を進めているが、売上が伸び悩んでおり収益改善までには至っていない。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	都市型のボートピア名古屋においては、安定的な売上と収益を確保しており、今後も本場からの場外支援を継続していく。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	454	非常勤職員管理事業		
根拠法令等	労働基準法、労働安全衛生法、健康保険法、雇用保険法、地方公務員法、蒲郡市競艇事業部非常勤職員の報酬額その他の勤務条件に関する要綱外	事業開始年度 事業期間	平成18年度より競艇事業部にて新要綱を制定して任用開始	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	ボートレース開催に資するため
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競艇場におけるレース開催日の非常勤職員を
目標 (目指す成果)	円滑なレース開催に資する
そのための 手段(手法)	根拠法令、要綱等に基づき適正な労務管理を行うことにより

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
年度当初の 非常勤職員数	39人	38人	39人
自場開催日数	192日	173日	204日
場間場外発売・ 受託日数	180日	182日	243日

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
自場開催1日当りの非常勤職員管理事業費(千円)	目標			588	
	実績	420	471		年度
場間場外発売受託1日当りの非常勤職員管理事業費(千円)	目標			76	
	実績	146	133		年度
労災発生率(%)	目標			0	0
	実績	0	2.6		年度

指標の説明

自場発売1日当りの非常勤職員管理事業費(千円)	自場開催非常勤職員管理事業費 / 自場開催日数
場間場外発売受託1日当りの非常勤職員管理事業費(千円)	場間場外発売非常勤職員管理事業費 / 場間場外発売・受託日数
労災発生率(%)	被災非常勤職員 ÷ 年度当初非常勤職員数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.60人	次長 課長級		補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.15人	非常勤	0.30人	再任用	
H22 人工計	0.60人	次長 課長級		補佐級	0.15人	係長級		一般職	0.15人	非常勤	0.30人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	106,931	105,697	138,377
	人件費	2,900	2,841	
	合計	109,831	108,538	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	109,831	108,538	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	非常勤職員の労務管理は、事業主が行う事務であるため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	現在の過密な発売体制の中で、現人員の中でローテーションを組み、場間場外発売日数等を増やすことで、収益確保と事務効率の向上を図っている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	現在の非常勤職員の体制の中で十分の成果をあげていると考えているが、今後の発売体制に伴う勤務体制の見直しを臨機応変に図り、より効率的な運営に努める必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	非常勤職員（警備担当）の適正配置、場間場外勤務者の勤務体制の見直し等。
今後の改善内容、計画（時期も含め具体的に）	施設改善に伴い非常勤職員の適正配置を進めていきたい。

平成22年度事務事業評価表	担当	競艇事業部 経営企画課	内線等	94+1121
---------------	----	-------------	-----	---------

事務事業名	455	臨時従事員管理事業		
根拠法令等	労働基準法、労働安全衛生法、健康保険法、雇用保険法、地方公務員法、蒲郡モーターボート競走事業臨時従事員の就業に関する規則外	事業開始年度 事業期間	昭和30年度	

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	競艇
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-		
市長マニフェストの執行状況	-		

事務事業の内容

目的 (何のために)	ボートレース開催に資するため
対象(受益者) (誰・何を)	蒲郡競艇場におけるレース開催日の臨時従事員を
目標 (目指す成果)	円滑なレース開催に資する
そのための 手段(手法)	根拠法令、規則等に基づき適正な労務管理を行うことにより

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
年度当初の臨時従事員数	245人	231人	219人
自場開催日数	192日	173日	204日
場間場外発売・受託日数	180日	182日	243日

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
自場開催1日当りの臨時従事員費(千円)	目標			3,471	
	実績	3,664	3,925		年度
場間場外発売受託1日当りの臨時従事員費(千円)	目標			577	
	実績	855	772		年度
労災発生率(%)	目標			0.5	0
	実績	0.8	0.4		年度

指標の説明

自場開催1日当りの臨時従事員費(千円)	自場開催臨時従事員費 / 自場開催日数
場間場外発売受託1日当りの臨時従事員費(千円)	場間場外発売臨時従事員費 / 場間場外発売・受託日数
労災発生率(%)	被災従事員 ÷ 年度当初従事員数 × 100

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	3.40人	次長 課長級		補佐級	0.85人	係長級		一般職	0.85人	非常勤	1.70人	再任用	
H22 人工計	3.40人	次長 課長級		補佐級	0.85人	係長級		一般職	0.85人	非常勤	1.70人	再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	857,357	819,570	848,364
	人件費	16,433	16,101	
	合計	873,790	835,671	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	873,790	835,671	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	臨時従事員の労務管理は、事業主が行う事務であるため。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	発売担当のみならず、入場門、案内等サービス担当等を含めて全体として、ファンサービスの向上に努め成果をあげている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	サービス業であるが、費用対効果を強く意識し、現在の発売体制を見直し経費削減を図る必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	臨時従事員の適正配置、諸手当の見直し、場間場外勤務者の勤務体制の見直し等。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	臨時従事員の事務効率をさらに高めるため、臨時従事員1人当たりの自販機取扱台数を4台から6台に引き上げていく見直しの計画を施設改善に伴い進めていきたい。